

単元名 見えないだけ

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由とともにまとめることができる。  
 (3) 進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとする。

## 標準的な展開例

11210101\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 詩のイメージが伝わる表現を見つけ、それを意識しながら音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「見えないだけ」という言葉から、想像することを発表し合う。</li> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> </ul> <p>★詩の情景が分かるように朗読をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○詩「見えないだけ」を通読し、好きな言葉や表現を、その理由とともに発表し合う。</li> </ul> <p>○発表をもとに、詩のイメージと気に入った表現をノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○詩の特徴を生かし、朗読する。</li> </ul> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比喩表現や修飾語、その効果を説明する。</li> </ul> <p>【評】気に入った言葉や表現を発表する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表で共感できたものを参考にしてノートや学習プリントに書かせる。</li> <li>・ ペアや小グループ、全体など、学習形態の工夫を図るようにする。</li> <li>・ ノートを読み返し、書かれている言葉を根拠として詩のイメージを読み取ることを確認させる。</li> </ul> <p>第2学年では、短歌の鑑賞や意見文を書く学習があるが、いずれも根拠をもって感想や意見を述べることをしっかり習慣化させたい。</p>

## 【 備 考 】

第1学年までに学習してきたことを振り返り、第2学年の学習に新たな気持ちで臨むことができるような作品が取り上げられている。

ここでは、抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせたい。